

基本事業の成果状況と評価

基本事業01 地域を支える担い手づくり

指標	福祉ボランティアに参加した市民の割合 (%) 【福祉課】	基準値 (H27)	実績値 (R01)	実績値 (R02)	目標値 (R03)	対基準値
		14.4	11.9	10.9	20.0	☔ (低下)
評価	<p>(状況) 福祉ボランティアに参加した市民の割合は、基準値(14.4%)と比較して、3.5ポイント低下しました。</p> <p>(要因) 高齢化社会によりボランティアの担い手が減少していることが挙げられます。今後は、次世代の担い手養成などに取り組みます。(取得=市民アンケート)</p>					対前年度
		☔ (低下)				
<p>目標達成度</p> <p>■ ■ ■ (低)</p>						

基本事業01 地域を支える担い手づくり

指標	地域コーディネーター数 (人) 【福祉課】	基準値 (H27)	実績値 (R01)	実績値 (R02)	目標値 (R03)	対基準値
		70	67	71	80	☀ (向上)
評価	<p>(状況) 地域コーディネーター数は、基準値(70人)と比較して、向上しました。</p> <p>(要因) 各支部社協において、地域コーディネーターを設置し、地域福祉の担い手の増加に努めました。今後も、さらに地域福祉の重要性を啓発し、地域コーディネーターなどの、地域を支える人材の発掘に努めます。(取得=社会福祉協議会)</p>					対前年度
		☀ (向上)				
<p>目標達成度</p> <p>■ ■ ■ (中)</p>						

基本事業01 地域を支える担い手づくり

指標	福祉のボランティア及びNPO団体数 (団体) 【福祉課】	基準値 (H27)	実績値 (R01)	実績値 (R02)	目標値 (R03)	対基準値
		143	103	115	170	☔ (低下)
評価	<p>(状況) 福祉のボランティア及びNPO団体数は、基準値(143団体)と比較して、28団体減少しました。</p> <p>(要因) ボランティア団体構成員の高齢化に伴い、団体の維持や活動が難しくなったことが挙げられます。また、実際に活動していても未登録のボランティア団体も見受けられることから、引き続き、登録により地域の情報が得られるなどのメリットを発信し、登録を推奨するとともに、地域福祉の重要性を啓発し、地域を支える担い手を増やすように努めてまいります。(取得=社会福祉協議会)</p>					対前年度
		☀ (向上)				
<p>目標達成度</p> <p>■ ■ ■ (低)</p>						

基本事業02 地域を支えるネットワークづくり

指標	地区懇談会を開催した支部社会福祉協議会の割合 (%) 【健康福祉部】	基準値 (H27)	実績値 (R01)	実績値 (R02)	目標値 (R03)	対基準値
		87.5	100	25	100.0	☔ (低下)
評価	<p>(状況) 地区懇談会を開催した支部社会福祉協議会の割合は、基準値(87.5%)と比較して、62.5ポイント低下しました。</p> <p>(要因) 各支部社協では地区懇談会のほかに福祉委員会などを開催しており、地区懇談会の代わりに役割を果たしている実情もあります。しかしながら、令和2年度では新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため、実施をしない支部も多くありました。今後においては、感染症の状況を鑑みつつ、複雑・多様化する福祉課題に対して、速やかな対応が望めるよう情報交換や交流のできる場を充実させていきます。(取得=社協統計)</p>					対前年度
		☔ (低下)				
<p>目標達成度</p> <p>■ ■ ■ (低)</p>						

基本事業02 地域を支えるネットワークづくり

指標	民生委員・児童委員の相談件数（件）	基準値 (H27)	実績値 (R01)	実績値 (R02)	目標値 (R03)	対 基準値
		【福祉課】	3,127	2,200	2,520	4,040
評価	(状況) 民生委員・児童委員の相談件数は、基準値(3,127件)と比較して、607件減少しました。					対 前年度
	(要因) 高齢者や子供に関する相談等の件数が減少していることが挙げられます。今後においても、少子高齢化社会の中、民生委員・児童委員の活動状況等を周知することで、市民の方が安心して、民生委員・児童委員へ相談できるような環境作りに取り組み、相談件数の増加を図っていきます。(取得=社会福祉担当)					☀ (向上)
						目 標 達 成 度
						■ (低)

基本事業03 誰もが自分らしく生きるための仕組みづくり

指標	市民後見人研修会の参加人数（人）	基準値 (H27)	実績値 (R01)	実績値 (R02)	目標値 (R03)	対 基準値
		【福祉課】	-	23	23	100
評価	(状況) 市民後見人研修会の参加人数は、フォローアップ研修を実施した結果、23名でした。今後、市民後見人の活躍を想定し、引き続きフォローアップ研修を実施するほか、市民後見人が更に認知されるよう努めます。(取得=高齢者福祉担当)					対 前年度
	(本指標は、初期値がないため、前年度値からの比較にて、成果状況を評価しています。)					☁ (横ばい)
						目 標 達 成 度
						■ (低)

基本事業04 安心して生活ができる環境づくり

指標	近隣とのコミュニケーション・交友関係が構築されている市民の割合（％）	基準値 (H27)	実績値 (R01)	実績値 (R02)	目標値 (R03)	対 基準値
		【福祉課】	42.3	39.6	39.0	55.0
評価	(状況) 近隣とのコミュニケーション・交友関係が構築されている市民の割合は、基準値(42.3%)と比較して、3.3ポイント低下しました。					対 前年度
	(要因) 地域を支えるネットワークづくり、安心して生活ができる環境づくりなどに取り組みましたが、近所とのコミュニケーション・交友関係を必要としない人達へ、近所との交友の必要性をうまく意識付けられなかったことが挙げられます。今後も、「支え合い、助け合い」地域づくり、住民同士の交流を進めていきます。(取得=市民アンケート)					☔ (低下)
						目 標 達 成 度
						■ (低)

基本事業04 安心して生活ができる環境づくり

指標	避難行動要支援者名簿登録者数（人）	基準値 (H27)	実績値 (R01)	実績値 (R02)	目標値 (R03)	対 基準値
		【福祉課】	629	487	437	900
評価	(状況) 避難行動要支援者名簿登録者数は、基準値(629人)と比較して、192人減少しました。					対 前年度
	(要因) 避難行動要支援者名簿の登録については、制度法改正により個人情報の取り扱いの厳格化が図られ、登録する側も躊躇するようになったことや制度の認知度が低いことが挙げられます。令和3年度では災害対策基本法の改正に伴い個別避難計画の作成が努力義務化されたこともあり、地域防災計画の見直しも予定されていることから、避難行動要支援者の避難行動支援についても再度整理し、援護を必要とする人たちが、誰もが孤立せず、安心して生活ができる環境づくりに努めます。(取得=社会福祉担当)					☔ (低下)
						目 標 達 成 度
						■ (低)

基本事業04 安心して生活ができる環境づくり

指標	社会福祉協議会や支部社会福祉協議会、市で開催しているサロンの開催箇所数（箇所）	基準値 (H27)	実績値 (R01)	実績値 (R02)	目標値 (R03)	対 基準値
		【福祉課】	83	98	115	100
評価	<p>（状況）サロンの開催箇所は、基準値(83箇所)と比較して、32箇所増加しました。</p> <p>（要因）地域住民と触れ合える、そして交流できる場を提供してきたことにより、参加する場所が定着してきているが挙げられます。新たな生活様式も考慮したサロン活動が求められていますが、今後も、地域の実情に即した多種・多様なサロン活動を充実させ、誰もが自立して暮らすための地域住民のふれあいや交流が促進できるように努めます。（取得＝社会福祉協議会）</p>					対 前年度 ☀ (向上) 目 標 達成度 🏰 (達成)